

発見! この街 いちばん店

街の名物・名店
募集!

われこそは、街のいちばん店と思われのお店を経営の皆様。ご紹介させていただきたくので、同封の宛名台紙にてご応募ください。たくさんのご応募お待ちしております。

株式会社白糸ハイランドウェイ

<http://www.karuizawa-shw.com/>



JR軽井沢駅北口から、草軽電鉄旧軽井沢駅舎跡を通り過ぎ、別荘が立ち並ぶから松並木を抜けると、軽井沢の豊かな自然を感じながら森の中をドライブできる延長約10kmの観光有料道路「白糸ハイランドウェイ」の入り口に差し掛かります。

1963(昭和38)年に開通した白糸ハイランドウェイは、旧軽井沢から国道146号を直結する便利な道路。浅間山や鬼押し出し園、草津温泉や万座温泉といった近隣観光地へのアクセスもよく、北軽井沢からアウトレットモールへ抜ける近道としても知られています。2011(平成23)年6月に草軽交通株式会社から管理運営を引き継いだ株式会社白糸ハイランドウェイの藤原正浩さんにおすすめポイントを伺いました。「夏は白糸の滝のライトアップ、冬は白糸の湧水を使った氷柱のイルミネーションなど、近年はイベントを通じた“楽しめる道路”づくりに力を入れています。近隣のカフェやホテル、観光施設とも協力し、単なる通過点に終わらせない魅力あふれる道路にしていきます」。ドライブが楽しくなること間違いなし! それいけシライト!!

株式会社白糸ハイランドウェイ
TEL 0267-31-0070 FAX 0267-46-8688
〒389-0104 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東10-24
e-mail info@karuizawa-shw.com

FM軽井沢に立ち寄って 白糸ハイランドウェイの特典をゲット!!

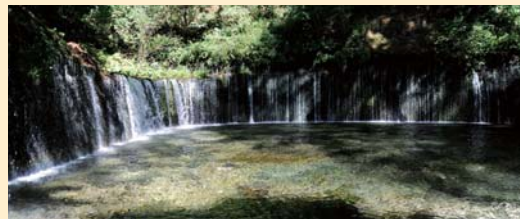
FM軽井沢
FM KARUIZAWA 77.5

JR軽井沢駅直結のFM軽井沢(77.5MHz)では、ご来訪特典として先着10名様に軽井沢の様々な施設で割引が受けられる**PLATINUMメンバーズカード**を差し上げます(必ず「OBC奉迎EXPRESSを見た」とお伝えください)。白糸ハイランドウェイ料金所ではカードのご提示で、回数通行券購入の方に限り**無料交通券+3枚**をプレゼントいたします!
FM軽井沢ホームページ<http://fm-karuizawa.net/>

●おすすめスポット(価格は税込)

白糸ハイランドウェイ 通行料金 ※徒歩、自転車の通行は出来ません
二輪自動車(125cc超) 210円
軽自動車・小型自動車・普通自動車、乗用・貨物 300円
マイクロバス 750円 大型・特大 1,200円

白糸の滝



岩肌から数百条もの地下水が染み出し滝を形成する白糸の滝。その姿は美しく繊細で、見ていると自然と心が鎮まってくるのを感じます。湯川の水源にもなっているこの滝は、活火山として有名な浅間山の地熱によって温められているため、冬でも凍ることはありません。清く豊かな水辺には、クレソンが自生しています。夏に行われる幻想的なライトアップも必見!

竜返し滝

白糸の滝が女性的と言われるのに対し、竜返し滝は男性的と評されます。落下距離は短いものの、流れる様は勢いよく、水の力を感じます。駐車場から滝までの林道をのんびり歩けば、様々な木や草花を観察したり、鳥のさえずりに耳を傾けたりすることもできます。



草軽交通株式会社白糸店(軽食&おみやげ)

白糸ハイランドウェイの中間地点、白糸の滝の入り口にある休憩所。地場の野菜や土産品、軽食をいただくことができます。目玉商品は、岩魚の丸ごと一匹炭火焼き! 炭火の遠赤外線効果で身はホクホク、頭から骨まで食べられます。白糸の滝で作った豆腐も名物のひとつです。(岩魚の塩焼き 1本700円 白糸湧水とうふ 1皿300円)



道路状況&イベント情報はホームページをチェック!

渋滞や道路状況、交通規制やイベント情報などのほか、軽井沢の今をお届けするブログなど、欲しい情報が満載です。ライトアップの詳細な日程などもこちらで確認できます。白糸ハイランドウェイのTwitterでは道路状況や軽井沢のおすすめ情報を発信中! 皆様のフォローお待ちしております!

OBC製品の使い勝手 使用製品 勘定奉行



株式会社白糸ハイランドウェイ
総務部長の
藤原正浩様に
OBC製品の使い勝手について
おうかがいしました。

会社設立から勘定奉行を導入し、使用歴は2年になります。導入にはクラウドも検討していましたが、私自身、建設奉行を使っていた経験があり、奉行製品の操作に慣れていたこともあって、奉行シリーズに落ち着きました。コスト面を含めて使い勝手には満足しています。システムに関しては、仕訳のコピーがスムーズにできるといいですね。社内ではタブレットパソコンも活用しているので、自社システムと連動した新たな仕組みを作れたらと思います。